

関中 学校だより



関中学校HPにアクセス

＝ 第19号 ＝
令和3年10月14日発行
亀山市立関中学校
文責 岩間（校長）

学校教育目標：豊かな心を持ち、進んで行動する生徒の育成

2学期中間テストが終わりました！ 計画的な家庭学習の成果は出ましたか？

2学期の中間テストが終了しました。1年生にとっては3回目の定期テストで、テスト前の計画的な家庭学習への取り組み方やテスト当日の受験方法についてもかなり慣れてきたようです。計画表の保護者コメントでは、「ずいぶん前から勉強に取りかかっていたので、すごいなあと思います」「これからも効率よく、メリハリのある勉強法を見つけてね！」など温かい声をかけていただいています。

テスト終了後には、テストから解放されてくつろぐ姿や学年でフットボールをする姿がありました。

今週早速テスト結果が返ってきますが、結果をしっかりと受け止め、今後の日常的な授業の受け方や家庭学習の方法などの改善に生かしてほしいと思います。



1年 テストの様子



2年 フットボール大会



3年 テスト後の様子

リバウンド阻止重点期間が終了し、教育活動等の制限も徐々に解除へ！

新型コロナウイルスの感染状況も落ち着いてきたため、今日で三重県のリバウンド阻止重点期間も終了します。そこで、感染リスクの高い活動では、特に感染症対策を十分取りながら、調理実習や理科実験等の活動制限を解除していきます。

また、部活動もこれまで自校のみの活動としていましたが、種目ごとに11月から実施される協会等の公式大会に向けて、市外の学校も含めた練習試合や合同練習会を徐々に計画していくことにします。部活動ガイドラインに沿って、無理のないように活動していきますので、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



サッカー部



野球部

関中学校「クリーン大作戦」を実施しました！

10月13日（水）の7時30分から、関中学校「クリーン大作戦」を実施しました。これまでに野球部のみさんが毎週水曜日の朝、地域の清掃活動をしてきましたが、この度、規模を拡大して実施してみました。当日は、43名（全校生徒の約3分の1です）の自主的な参加者があり、野球部の指示のもと6か所に分かれて清掃活動を行いました。地域のみさんや小学生にあいさつをしながら、ゴミ拾いをしていると「ありがとう！」と声をかけてくださる方もあり、気持ちよく1日が始まる気がしました。今後は、月1回のペースで全校の取組にできたらと考えています。



※裏面に「全国学力・学習状況調査等の結果分析と今後の取組について」記載しました。3年生だけでなく、全学年、全教科に関わって、今後取り組んでいきますので、よろしくお願いいたします。

全国学力・学習状況調査等の結果分析と今後の取組について

各教科の平均正答率

	本校	三重県	県との差	全国	全国との差
国語 (%)	62.0	63.0	-1.0	64.6	-2.6
数学 (%)	61.0	58.0	+3.0	57.2	+3.8



各教科の観点別平均正答率

		本校	三重県	県との差	全国	全国との差
国語 (%)	話す・聞く能力	69.0	78.1	-9.1	79.8	-10.8
	書く能力	57.1	55.4	+1.7	57.1	±0
	読む能力	48.2	46.0	+2.2	48.5	-0.3
	言語の知識・理解・技能	74.4	74.5	-0.1	75.1	-0.7
数学 (%)	数学的な見方・考え方	48.0	41.1	+6.9	41.1	+6.9
	数学的な技能	84.1	78.6	+5.5	77.7	+6.4
	数量・図形の知識・理解	65.9	66.7	-0.8	65.6	+0.3



各教科の分析

【国語】 国語の平均正答率は62.0%で、三重県との差は-1.0ポイント、全国との差は-2.6ポイントと少し低かった。書く・読む能力は、県の正答率を上回り、言語の知識理解技能は、県とほぼ同じであるが、全国よりは少し下回っている。特に顕著に差が見られるのが、話す・聞く能力である。県より-9.1ポイントであり、全国より-10.8ポイントであった。「話し合いの話題や意図を捉えたりそれに即した発言を考える」「段落相互の関係に注意して書く」「文章の見方考え方を捉え自分の考えを持つ」の正答率が低いことがわかった。

【数学】 数学の平均正答率は61.0%で、県との差は+3.0ポイント、全国との差は+3.8ポイントと少し高くなった。数学的な技能の正答率は、全国より+6.9ポイントと高いが、単純な文字式の問題を誤答する生徒も多かった。数学的な見方・考え方の正答率も、全国より+6.9ポイントと高い。記述問題や証明の問題をこなすことで、パターンに当てはめて答えられるようになってきている。一方、数量や図形の知識理解の正答率が、県より-0.8ポイント低く、数量や資料が表しているものの意味を理解する力が必要である。



今後の取組

【国語】 文章の行間を読むこと、会話や抽象的な事柄を具体的に整理して再度言語化することが苦手だと考えられる。そこで、国語の授業では、頭の中で理解したり考えたりしている事柄を言葉や文章に表し、相手にしっかり伝えることに重点をおいて取り組んでいく予定である。

【数学】 単純な計算ミスをしないよう、引き続き基礎的な計算の練習を繰り返し行う。また、数量や資料が表している意味を考えるために、例えば、「人数」を表している数と「人数の割合」を表す数の違いを理解し、その活用方法について考える。数学的な考え方を言葉で表現するため、自分の考えを自分の言葉を使って相手に伝えるような活動を取り入れていく予定である。

生徒の学習環境等

全国学力・学習状況調査の生徒質問紙より、学習・生活環境や学習意欲、学習方法等について分析した結果、学習環境は全国的にもよいと考えられる。例えば、「毎日同じ時刻に寝ている」の肯定的回答は85.8%（全国比+6.0ポイント）、「学校に行くのが楽しい」の肯定的回答は90.5%（全国比+9.4ポイント）と高い。生徒は規則正しく楽しい生活を送っている。また、「自分の考えをきちんと言葉で表している」の肯定的回答は90.7%（全国比+15.5ポイント）と話し合い活動の成果があらわれている。「数学で学習したことは、将来役立つと思うか」の肯定的回答は83.7%（全国比+9.1ポイント）と学習に対する意欲や取組、必要感や有用感といった学習に対する意識が高いことがわかった。「地域の行事に参加しているか」の肯定的回答は71.4%（全国比+27.7ポイント）と地域の中で強く結びついて生活していることがわかった。

一方、「平日30分以上勉強する」の肯定的回答は88.1%（全国比-1.9ポイント）とやや低く、3年生においても家庭学習において課題がある。「ICT機器の使用頻度が週1回以上」と回答したのは4.8%（全国比-30.0ポイント）と極端に低く、今年度から本格的に導入されたタブレットの授業での活用を積極的に進めていく必要がある。

